

## 地域支援部



利用者さんと専門職を繋ぐ職域を「地域支援部」として紹介します。患者さんと医療職をつなぐ医事調剤課、利用者さんと介護事業所の間に立つ居宅介護支援事業所、杏心の丘と家族・入居者・地域をつなぐ相談員。潤滑油として重要な役割を果たす縁の下の力持ちです。

### 医事調剤課

濱田 悦子 池下 彩 工 愛



研修部長 主任 主任  
平山 園子 江本 夕希子 南里 ゆかり

「これからの未来、病気や介護とたくさんの不安がある」「悩んでいるけどどうしたらいいのか、誰に相談したらいいのか分からない」こんな思いをされている方も多くおられるのではないのでしょうか。そんな時、私たちが窓口となり、不安や悩みを解決するお手伝いをさせていただきます。私たちと一緒に、素敵な未来を望む形で実現させていきましょう。



高野 緑 山口 (おり) 薬剤師 泉 大助

今年もクリニックの顔として、皆さんに安心して話ができる医事調剤課を目指し、精一杯精進してまいります。

### はるかぜ居宅介護支援事業所

12月より新メンバーを迎え、女性4人となります。

かなめ

在宅生活を支える 要 として、《私のケアマネジャー》になれるようクリニックのスタッフと共に皆様を支援してまいります。



所長 主任  
山田 裕子 緒方 里美 吉田 幸代 中嶋 嘉代

### 地域包括ケア 杏心の丘

杏心の丘として、地域の何を支援するのか。一言で表すなら、「住み慣れた地域や我が家で最期まで暮らせるよう、住まいとして支援します。」という事でしょうか。生活の土台は、住まいです。住むところを何処にするかで、医療・介護の支援体制も変わってきます。住まうところを大まかに区分すれば、①住み慣れた我が家に住み続ける ②施設へ入所する ③安心できる住まいに住み替える に分けることができます。杏心の丘は、この③に当てはまります。

犬とえば、動物の中でも特に嗅覚が優れています。杏心の丘は、年老いても安心して暮らせる、家族ではなく自分が決める住まいです。自分の嗅覚で、終の棲家を探す年にしませんか。ご相談は、お気軽に館長までどうぞ。



杏心の丘 館長  
浦上 誠